

議会報告会報告書

令和4年4月28日

大竹市議会

議長 賀屋 幸治 様

B班

班長 西村 一啓

議会報告会の実施状況について、次のとおり報告します。

1. 開催日時

令和4年4月23日（土） 18時から19時30分

2. 開催場所

玖波公民館

3. 参加人数

20人

4. 担当班議員名

班長 西村 一啓

副班長 細川 雅子

班員 網谷 芳孝

藤川 和弘

賀屋 幸治

5. 報告会次第

(1) 開会挨拶

(2) 委員会からの報告事項

① 総務文教委員会

② 生活環境委員会

③ 広報広聴特別委員会

④ 基地周辺対策特別委員会

(3) 意見交換

① 議員のなり手不足と議員定数について

(4) その他のご意見

6. 委員会からの報告事項についての主な質疑応答

なし

7. 主な意見交換

①次回の市議会議員選挙が無投票になったら、どう思いますか。

Q：無投票になったことについての意見を、会場にいる議員に問う。

全員が回答した。

A：市民の声が選挙で反映されない。議員も4年間の活動の評価を市民にしてもらおう機会となる。

A：議員アンケートでも無投票との因果関係はないとの回答が多かった。

全国的な課題だ。選挙になることで市議会のレベルも上がると思う。

A：無投票になったのは残念だった。

前半の2年間は議会に関心をもっていただけるよう、なり手を増やす努力をしてきた。

A：自分は無投票になったあと、議員定数を削減するべきだと考えた。しかし、市民の皆さんからは「減らすべきでない」との多くの声を聞いた。今は、立候補していただけるためにと考えている。

A：若い方に立候補していただきたい。選挙はならないといけない。

引き続き、議会改革で議論をしていきたい。

②議員のなり手不足を解消するため、どのようになれば、議員に立候補したいと思いませんか。

(意見・要望等)

・議員アンケートで、「議員定数」について「どちらでもない」との回答が7名いたのはいかなものか。議会に魅力がないと若い方たちは無関心が多い。自治会も同様だ。

* (回答) 自治会活動への無関心については、持ち帰り、自治振興課と協議検討したい。

③選挙に出ようと思ったことはありますか。

なし

議員側から会場に質問。「こんな人に議員になってほしい」があればお願いしたい。

・大野に住んでいますが実家が黒川。子育てで実家に帰るつもりで今日は参加した。

子育て中なので子育てと高齢者福祉について関心がある。

また、環境問題を大事にしてもらいたい。工場がたくさんあるので、公害問題。

美和町にメガソーラー、そこから流れてくる川への重金属汚染やダイオキシンの問題を下手の大竹がどのように考えて注視しているのかも気になる。そういう問題が起こったら子供や高齢者が被害を受けやすい。長期的な視野で、そういう問題についても考えてもらえる方が立候補したら応援したい。

会場から質問

Q：資料6について説明してほしい。

財政力指数が高いほど財源に余裕があると出ているが、他の市町に比べて大竹は極端に高いと思う。この点を詳しく説明してほしい。

A：大竹市に税金や事業所の法人税が入るし個人からも税金をもらっている。

固定資産税など市の収入があり、それが分子。

分母は大竹市がどうしてもやらなければいけない事業。道路や、介護保険、保育所の運営とか。大竹市として絶対やらなければならないものの経費。

ここに出ている数字は、全部収入より経費の方が大きい。

数字が大きくなり、1を超えると大竹市が自由に使えるお金が多い。

Q：借入金が400億円もある。市の予算から言えば倍以上ある。

それも含めて検討しないといけない。大丈夫とは思わない。

これから将来大変なことになる。それを考えないといけないと思う。

A：おっしゃるとおり。

財政力指数は、市の財政の状況をみる指標の一つ。

将来負担比率とって、大竹市が将来返して行かなければ行けない借金がどれだけあるかを示す指数もある。

大願寺の造成のために大竹市は大きな借金を抱えているので将来負担比率が悪い。

しかし、借金もだんだん減っていき、だんだん楽になってきているというのが現状。

8. その他の主なご意見

(意見・要望等)

なし

(回答した質疑)

Q：岩国大竹道路の完成はいつになるか。また、完成すると玖波が混雑する。玖波の2号線での事故もあった。玖波の将来のことを考えて交通緩和、これは安全にかかわる。

A：完成すると高速からおりてきて、2号線に降りてきて本来6車線あるものが1になる。交通渋滞、混雑が予想される。

市や県や国も状況把握、要望等を踏まえて次の手をどのように打つか検討している。

1点目は、廿日市市と大竹市、2号線が混んだり、2号線が台風で交通止めになったりした時、高速も通行止めになり、玖波8丁目から鳴川の市道側道の利用が増えて、側道は場所によっては5mで、混雑も増えて危険である。

連絡道として、新たに道路新設をしようと、すでに計画や用地買収も進んでいる。具体的な図面がもう少しでできると思う。安全な市道を1本山手側に開通するということ。

2点目。2号線が台風の時鳴川で通行止めになる。2号線の台風対策、潮が上がって通行止めになるのを防ぐため波をとめる、防波堤をやり直すということ国が認めた。

具体的な事業などは今から予算をつけてやっていくことになっている。廿日市市と大竹市で組んで国に要望している。

3点目の岩国大竹道路の開通見込みは、国がはっきり答えない。

岩国側の室の木も去年10月に視察にいったが、岩国は2号線へのタッチや山手団地のトンネル工事に向けての道路の整備も進んでいる。用地買収も岩国はほとんどできたということ。

大竹側は元町4丁目辺りの用地買収ができておらず所有権移転が進んでいないので、それで遅れが出ている。

2号線沿いの小方黒川は、目に見えて工事が進んでいるが、3年5年でできるようなものではないとは感じている。

Q：玖波駅の西側から東側に出るのが遠回りである。西側から東側に抜ける自由通路をなぜ作らなかったか。

A：エレベーター設置については昔話があったが、その当時JRが市に多くの負担を求めたということもあり、西口から乗り降りができるようにすれば、当面歩いて回ればエレベーターが無くても階段がきつい人は廻ってもらうことになるが、自由通路として、エレベーターが無くても安全にいけるのではないかと、西口の開通をした。

将来的にはJRも自ら跨線橋の改修をしていく努力をしていかなければいけない。

周りの駅をみても跨線橋が残っているのは玖波駅だけ。更新時に同時にエレベーターの設置もあるだろう。我々も声を上げていきたい。

*意見・要望（要望があったことを執行部に伝える）

- ・駅前のトイレ。東側のトイレをタクシーなどいろいろな人が利用していたが、今は無いので利用できない。東側のトイレを実現してほしい。
- ・バスの待合所も日よけもなく、夏は暑い。ベンチに日よけが欲しい。

*については執行部に伝達する。

9. 気付きや反省点

- ・メインテーマの「議員のなり手不足、定数について」の意見がほとんど出なかった。
- ・「班構成について、ABCの班分けはくじで決まっていることをどこかに書いてほしい」と、市民から言われた。
- ・開催日、開催時期について、自治会総会などの日程調整があればよかった。
- ・中国新聞などマスコミに情報提供をして、新聞に掲載してもらえば参加者が増えたかも。
- ・議会のHPで告知したほうがよい。
- ・地域テーマについて意見が出ていた。テーマについては再考が必要か。